

8. 小窩裂溝填塞材に関する臨床的ならび走査型電子顕微鏡的研究 — とくにFISSURESEALについて —

○大山直生，木村光孝・内上堀 征人，森高久恵，中村嘉明，森山清明
(九歯大・小児歯)
谷口康子(北九州市・門司労災病院歯科)

日常の小児歯科臨床において、健全歯の齲蝕予防、またC₀あるいはC₁の歯牙の齲蝕進行抑制の目的で小窩裂溝填塞材が繁用されている。今回演者らは新材料FISSURESEALを使用する機会を得たので、本学外来の患児を被検者とし、その齲蝕予防効果について臨床的に検討を加え、またその表面および移行部を詳細に観察するため走査型電子顕微鏡を用いて検索した。今回は1年間の観察期間のものについて報告する。

9. 若年者の顎関節症に関する臨床統計的研究

○大野秀夫，堀川清一，森主宜延，小椋 正
(鹿大・歯・小児歯)

小児の口腔管理の対象となる疾患は、ウ蝕に代表され、歯周疾患そして咬合の問題であると考えられてきた。近年、これらに加え、口腔器官の機能的障害が注目をあびつつある。

今回、我々は、この機能障害の1疾患である思春期に発症した若年者の顎関節症について、鹿児島大学歯学部小児歯科外来受診患者を対象に、病状を中心とした実態と歯科的対応の効果ならびに問題点を抽出したので報告する。